令和3年度第1回広島市競輪運営委員会 議事要旨

1 委員会名

令和3年度第1回広島市競輪運営委員会

2 開催日時

令和3年9月3日（金）14:00～16:15

3 開催場所

広島競輪場 東スタンド会議室

4 出席者

(1) 委員（5人）

伊藤 敏安（広島修道大学国際コミュニティ学部教授）

伊藤 雅次（㈲企業実務研究所所長、中小企業診断士、社会保険労務士）

川島 宏治（テレビキャスター）

佃 祐世（弁護士）

辻 孝和（㈱たびまちゲート広島 顧問）

(2) 事務局（3人）

津村 浩（広島市経済観光局長）

八木 孝裕（競輪事務局長）

西田 満（競輪事務局次長）

5 議題

(1) 委員長等の選任について

(2) 広島競輪場再整備・運営事業 公募型プロポーザル 公募要領（案）について

(3) 事業予定者選定基準（案）について

6 傍聴人の人数

(1) 一般 6人

(2) 報道関係 0社

7 資料

(1) 資料1 「配席図」 (5) 参考資料1 「広島市附属機関設置条例」

(2) 資料2 「出席者名簿」 (6) 参考資料2 「広島市競輪運営委員会規則」

(3) 資料3 「次第」 (7) 参考資料3 「広島市競輪運営委員会の公開に関する取扱要領」

(4) 資料4 「第1回資料」 (8) 参考資料4 「競輪事業の在り方に係る検討状況等」

8 委員会の要旨

(1) 委員長等の選任について

委員長及び副委員長について、委員の互選により、委員長に伊藤敏安委員が、副委員長に伊藤雅次委員が選任され、それぞれ挨拶した（挨拶の要旨は、別紙1のとおり。）。

(2) 広島競輪場再整備・運営事業 公募型プロポーザル 公募要領（案）について

事務局から、資料4「第1回資料」に基づき説明した後、質疑応答を行った（質疑応答の発言要旨は別紙2のとおり。）。その後、広島競輪場再整備・運営事業 公募型プロポーザル 公募要領（案）について審議するに当たり、伊藤委員長から広島市競輪運営委員会の公開に関する取扱要領第2条の規定に基づき非公開としたい旨の発議があり、出席委員の全員が賛成した。以降の審議は非公開となり、傍聴人に退場していただいた。

【伊藤敏安委員長】

以前は競輪事業の廃止もやむを得ない状況だったが、平成27年度から包括委託を始め、昨年度の令和2年度車券売上は200億を超える結果で、V字回復した。これは適切な時に適切な外部委託が行われたことが要因としてあったと考えられ、広島競輪場の外部委託は成功事例の一つと評価できる。

自転車に関わるスポーツ、あるいはその他の関連スポーツ等の振興拠点となり得る非常に貴重な場所であるため、競輪施設というだけでなく、市民へ公共的な空間を提供できる施設となるよう、前向きな方向に進めていきたい。

【伊藤雅次副委員長】

今回は再整備及び事業継続の事業者を決めるという点で、前回開催した競輪運営委員会の内容と異なる。現在の包括委託期間と比べて、今回は最大で34年と期間が長いため、各委員様の意見や考え方を取りまとめて、進めていきたい。

【川島委員】

ネット会員が増えているのは、広島競輪場で何か積極的に広報活動をした結果なのか。

【競輪事務局次長】

コロナ禍等による社会情勢の変化に伴うものだと考えている。また、ネット事業者によるキャッシュバックキャンペーン等の取組も会員が増えている要因になっていると考えているが、広島競輪場独自でネット会員を増やす取組は特段行っていない。

【川島委員】

今後、市民にとって楽しいエリアにするためにも、これからは広報活動によって積極的なアピールは必要になると思う。

【競輪事務局次長】

了解した。

【伊藤副委員長】

電投の売上が非常に伸びているということだが、具体的な客層はどうなっているのか。

【競輪事務局次長】

令和2年度2月末現在で、概ね構成としては、40代が1番多く、25.42%。続いて、50代が23.99%。その次が30代で15.43%となっており、本場に来場される方よりも若い傾向にある。

【伊藤委員長】

かつては、特定の偏った層が中心だったが、このように年齢層が広がることは非常に喜ばしいことである。

【辻委員】

今後は競輪以外の収益も見込まなければならず、子ども連れの家族層の来場者数を増やしていく必要があると思うが、現状の来場者数はどうか。また、来場する年齢層の内訳はどうなっているのか。

【競輪事務局次長】

BMX大会やキックバイクレースなどを行うサイクルパークの来場人数については、平成30年度で約1万5,000人、29年度で1万7,400人である。年齢層の内訳については分かりかねる。

【辻委員】

収入は分かるか。

【競輪事務局次長】

分かりかねる。

【伊藤委員長】

子ども連れからも入場料は徴収するのか。

【競輪事務局次長】

本場開催日に限り、15歳以上から入場料を徴収している。